



まくべ

—わたしたちのまち—

(昭和63年2月1日現在)

人口	21,773	(-16)
男	10,623	(-16)
女	11,150	(±0)
世帯数	6,680	(-2)
一人のうごき (1月中)	—	
転入	47人	転出 65人
出生	15人	死亡 13人

||||||| 生きる喜びを創造するまち・幕別町 (新総合振興計画) |||||



ミニスキーで華麗? にジャンプ

2月14日に糠内で行われた第6回冬まつりでのミニスキージャンプ大会の1コマ。実況中継風に伝えると…「スタート台の幕別太郎選手、恐怖と緊張で顔がひきつっています。さあスタート。ジャンプノ。オッと着地と同時に転倒して顔面雪だらけです。本人は真剣ですが、観客の大爆笑を誘っています」…という感じでした。

63年 **3**

No.434

特集 本年度の町づくりはどう進んだか……②

産業の振興

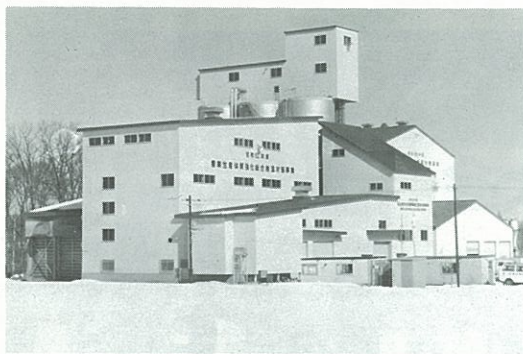
昭和六十二年度も後わずかになりました。町づくりはどう進んだか……。今月号では「産業の振興」「教育施設の整備」についてお知らせいたします。

の改良、農用地の規模拡大、農村道路網の整備などの基礎的条件を整備するために、北海道が事業主体となって行いました。

本年度は糠内地区畑地帯総合土地改良事業など十一の地区で道路網の整備や耕地の改良を行いました。

▼農業生産体質強化総合推進対策事業

能率的な生産技術を導入し、地域全体の農業生産力の向上を図りました。本年度は幕別町農協が事



糠内に建設された小麦の乾燥施設

業主体となって、糠内地区に小麦の乾燥施設を設置しました。事業費は三億四千四百八十万円で、国から一億四千三百六十四万円の補助金が交付されました。

▼町営育成牧場の整備

町営育成牧場は昭和四十一年に造成されました。総面積五百六十五畝の中に、採草放牧地が四百九畝あります。同牧場の整備は五十八年から進めています。本年度は一千百万円の事業費で綿羊舎を設置しました。

▼肉用牛の導入

肉用牛資源の拡大と経営の安定向上を図るため、道農業開発公社から雌の繁殖用肉牛を導入し、畜産農家へ貸し付けをします。本年度は六十四頭を導入しました。

林業

▼町有林の造成

町有林は一千二百二十四畝あり、毎年造成事業を行っています。本年度は、一昨年に地ごしらえをした三ヶ所にトドマツの植栽を行いました。また、三ヶ所の地ごしらえ

も行いました。

▼除間伐推進事業への補助

町の単独事業で、民有林の振興と造林意欲の向上を図るためのものです。カラマツやトドマツなどの成長のために行う下草刈りや枝はらい、除間伐四十畝に対し四十万円の補助をしました。

▼町森林組合への補助

個人や会社などが所有している民有林は約七千三百畝あり、本町の全森林面積の八三%を占めています。植栽、地ごしらえなど民有林振興の指導をしている町森林組合へ、七十万円の補助金を交付しました。

商工業・観光開発

▼特産品開発の研究活動補助

町では「一村一品運動」の推進と

して、特産品の開発、調査研究を行うグループ・個人に対して補助金を交付しています。補助金は一件につき五万円です。

▼町商工会への補助

商工会が行う経営改善普及事業（経営の合理化・改善、経営・金融技術の向上などの相談指導）や一般事業（総合振興対策、商・工業振興対策、サービス業振興対策）などに一千六百六十三万円の補助を行いました。

▼観光協会への補助

観光資源の調査・開発、地場産品の紹介・宣伝などを目的として昭和五十三年に観光協会が発足しました。「産業まつり」の開催や各種イベントの後援や協賛をします。本年度は同協会に四百五十万円を補助しました。

教育施設の整備

学校教育

▼明倫小学校校舎の改築

老朽化した明倫小学校校舎の全面改築工事が現在進められています。新校舎は鉄筋コンクリート平屋建てで、面積は七百二十六平方

メートルです。二月末に完成の予定で、三月十三日に落成記念式典が開かれます。

▼中里小学校に屋内体育館を建設

十勝管内で唯一、体育館のなかった中里小学校に体育館を建設しました。校舎の西側に建てられた

▼地域野菜生産団地育成事業（貸付金制度）

昭和五十三年度から町の単独事業として行っています。野菜生産農家（五戸以上で組織する集団）が生産管理施設や機械を導入して作業の共同化・生産物の一元集荷などを実施する場合、五百万円をお貸ししています。本年度は札内野菜生産組合と糠内長いも生産組合に貸し付けをしました。貸付期間は五年以内で、無利子となっています。

▼道営土地改良事業

農業生産に適するように、耕地

体育館は、鉄筋鉄骨セラミックブロック造りで、面積は五百四平方メートルとなっています。アリーナ、ステージの外、学校開放用の玄関、水飲み場が設けられており、一月二十四日に落成記念式典が行われました。



完成した体育館で一輪車の練習をする中里小の子供たち

▼学校施設の整備

糠内小学校校舎の改修工事を行いました。改修されたのは東側校舎で、床と屋根の改修、断熱工事などを行いました。また、学校開放事業の不便さを解消するために札内北小学校の屋内体育館を増築し、玄関や更衣室を設置しました。

▼就学援助制度

経済的理由で就学が困難な家庭や、一定の収入額以下の家庭のお子さん(小・中学生)を対象に、学用品費や給食費、修学旅行費などを援助しています。援助する額は国で決められた額の範囲内です。

今年の一月三十一日現在の認定

(援助)者数は四百三十一人(小学生二百九十人、中学生百四十一人)で、援助率(総児童・生徒数に占める認定者数の割合)は十三・四％となっています。

社会教育

▼少年自然の家の設置

青少年の宿泊研修施設として、新和小学校校舎を改修して幕別町少年自然の家を設置しました。施設の概要は、三十二畳の宿泊研修室が二室、屋内運動場のほか、厨房、浴室などがあります。問い合わせ、利用申し込みは教育委員会までどうぞ。



新和に設置された幕別町少年自然の家

▼図書への購入

町民会館と札内福祉センターにそれぞれ図書室があります。本年度も百三十万円で図書を購入し、蔵書の充実を図りました。

▼学童保育所の開設

家庭において何かの理由で保護を受けられない小学一・二年生を対象に、午後一時から五時までお子さんをお預りしています。現在、町内三カ所で開設しています。

▼社会教育関係団体への補助

社会教育活動を円滑に推進するために、町内にはさまざまな団体があります。それらの団体へ補助金を交付しました。補助額は総額で二百五十四万円になります。

社会体育

▼社会体育施設の整備

安全で楽しくスポーツができるように、社会体育施設の整備を行いました。本年度は、札内中学校のソフトボール場に夜間照明を設置しました。本格的な活用は今年からになります。

▼学校開放事業

ママさんバレーボール、バドミントン、卓球、ミニバレーボールなど、多くの町民が気軽にスポーツを楽しめるよう、町内各小・中学校の体育館を開放しています。

▼スポーツ教室の開設

広く町民にスポーツを普及するために、水泳、体力づくり、卓球のスポーツ教室を開設しました。

▼社会体育関係団体への補助

十八団体が加盟している町体育連盟に百万円、三十三団体が加盟している町スポーツ少年団本部に三十八万四千円の補助金を交付しました。(おわり)

カナダの文化と生活を学ぶ

国際交流セミナー・イン・MAKUBETSU

日本の国際化が進む中で、本道と同じ北方圏の国であるカナダとの交流を図ることを目的として、「国際交流セミナー・イン・MAKUBETSU」が二月十二日、町民会館で開かれました。主催は町内在住の海外研修経験者や国際交流に関心のある人たちで組織する町国際交流実行委員会(木村正夫委員長)で、当日は町民ら約二百人が参加しました。

化が共存している。週末は家族と共にレジャーを楽しむことが一般的である」と熱っぽく語りました。続いて札内南小学校、札内北小学校の児童ら四人がサケ学習を通してのカナダの小学校との交流のようすを発表しました。

セミナーでは開会式に続いて、昨年ヨーロッパ五カ国を視察研修してきた杉山勝彦さん(幸町)が基調報告。この後、カナダ大使館副領事のマッケンジー・クラグストンさんが「カナダの文化と生活」と題して「日本の二十七倍の国土を持つカナダは自然の宝庫である。また、多民族の国であり、それぞれの民族の文



セミナー終了後に行われた歓迎レセプション

最後に、カナダコロンビア州林産業審議会日本代表のジョン・パウエルさんが「カナダの木と文化」と題して、カナダの住宅事情を紹介しました。

セミナー終了後には歓迎レセプションが行われ、手打ちソバなどの日本料理に舌づつみを打ちながら、和やかな雰囲気の中で交流を深めました。



講演するクラグストンさん

大爆笑 新 ジャンプ大会

第6回まくべつ冬まつり

冬の恒例行事である第六回まくべつ冬まつりが二月十四日、糠内中学校特設会場で行われました。今年の冬まつりの目玉は第一回全日本ミニスキージャンプ大会。ミニスキーをはいて、斜度三十度、長さ十メートルのアプローチのジャンプ台を舞台に、飛距離部門とパフォーマンス部門に約百人が熱戦を繰り広げました。

飛距離部門ではアプローチや着地後に転倒者が続出、また、パフォーマンス部門では趣向をこらした衣装も見られ、観客の大爆笑を誘っていました。このほか、氷上ボウリングや自転車スキー、スノーモービル試乗会なども行われ、集まった約千五百人の人たちは冬の一日を心ゆくまで楽しんでいました。



選手のユーモラスな格好に大爆笑の観客



ゼッケン49番の選手がジャンプした瞬間

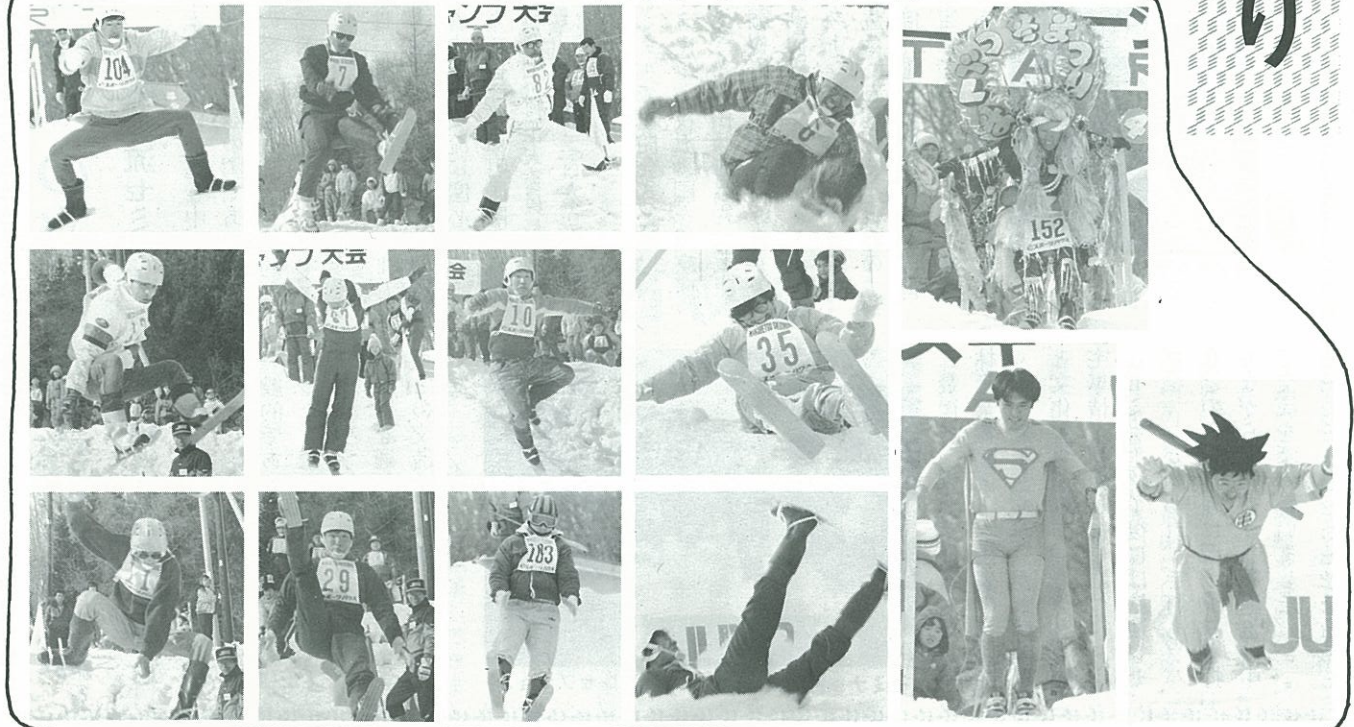


飛距離部門で優勝した小笠原義弘さん(中央)記録は6m 95cmでした



パフォーマンス部門で優勝した佐野修さん(右)と準優勝の佐野量子さん。実はこの2人夫婦でした。

飛型フォーム・着地・パフォーマンスあれこれ



利用して いますか？ 健康手帳

すこやかな老後を

高齢化社会に備えて、お年寄りが健康で安心して暮らせるようにと、一貫した保健サービスを行うっていくことを目的とした「老人保健法」がスタートして五年が過ぎました。この老人保健法の中で健康手帳の交付がうたわれています。健康手帳は、ご自身の日常の健康管理に役立たせるために健康診査などの結果を記録するものです。さて、あなたは有効に利用していますか。



日常の健康管理に大切な健康手帳

健康を記録する 健康手帳

- 「健康手帳」には、次のような内容が盛り込まれています。
- ① 健康診査の記録
 - ② 七十歳以上(六十五歳以上、七十歳未満で寝たきりの状態の人を含む)のお年寄りには「医療受給者証」および「医療の記録」
 - ③ 健康教育・相談などの記録
 - ④ 成人病の予防や健康な生活を送るための知識など
- このように健康手帳は、ご自身の健康と病気の状態を体系的にまとめて記録して、体の状態がすぐ

健康手帳の 交付は…

- 健康手帳が交付される人は、次のようになっています。
- ① 七十歳以上の人
 - ② 六十五歳以上、七十歳未満の人で寝たきりなどの状態の人
 - ③ ①、②の要件の人を除いた四十歳以上の人で、健康診査、健康相談などを受け、健康手帳の交付を希望する人
- 七十歳を迎えた人は、生まれた月の翌月から老人保健法の「老人医療費受給者」の資格を得ることになりますので、役場から通知がありましたら、町民課または札内支所窓口で健康手帳と医療費受給者証の交付を受けてください。
- 六十五歳以上、七十歳未満の人で、寝たきりの状態にある人は、あらかじめ申請をして、町長の認定

が必要ですので、町民課へご相談ください。

お医者さんにかかるときは

- 受診するときに、病院へ持っていくものは、次のものです。
- ① ご自身が加入している被健康保険者証
 - ② 健康手帳
 - ③ 老人医療費受給者証
- 特に健康手帳には、各種検診を受けた結果が記録されていれば、診察のときに非常に役立ちますので、忘れないようにしましょう。



老人医療で診察を受けたときの一部負担金は、昨年(の)一月一日に改正されて、外来の一月一日については八百円、入院は一日について四百円の一部負担金を病院へ支払っていたことになっています。ただし入院の場合、老齢福祉年金受給者で町民税非課税世帯には特例が認められています。手続きは本人の申請が必要となります。

詳しいことは、町民課国保医療係へお尋ねください。

☎ 54・2111 内線102

日常生活での 健康チェック

お年寄りは病気の発見が遅れると、若い人よりも病気が早く進み、回復も遅れます。ふだんから、自分の健康度をチェックする習慣を身につけましょう。

- ① 体重を測ること
目安となる体重の簡単な求め方の方法としては、身長から百をひいた値を使うと便利です。たとえば百六十五センチの人は六十五キログラムが目安となる体重になります。これより二十%以上少ないとやせすぎ、二十%以上多いと高度の肥満といえます。
- ② 体温を測ること
お年寄りの体温は平均して三十六～三十七度前後ですが、個人差がかなりあります。平常の体温の幅を自分で知っておきましょう。
- ③ 脈拍を測ること
脈拍数は年齢数とともに少なくなり、お年寄りでは普通一分間に五十～七十の間です。
- ④ 大便の形状を観察すること
排便したつど色・形・消化度をチェックしてください。便に赤い血液がつくときは痔の出血や大腸の病気、また、便の色が黒っぽいときは、胃や十二指腸のかいようからの出血と考えられますので受診してください。



全町ミニバレーボール冬期大会が2月15日に開幕し、過去最高の69チーム(男子35、女子34)が参加しました。予選リーグ、決勝トーナメントに熱の入った試合が展開され、男子は札内北フェニックス、女子は緑町第3公区が優勝しました。

六十九チームが熱戦を展開



町商工会(木川拓二会長)主催の地域講演会が二月十三日、札内福祉センターで行われました。講師はテレビでおなじみの福富達さんで、「今年予想される重要課題とその展望」と題して、今年の政治や経済の動向をわかりやすく解説していました。

わかりやすく政治・経済を解説



太平洋建設工業労働組合帯広支部(中村政信支部長)が2月18日、中央保育所にひな人形(30万円相当)をプレゼントしました。同支部による町内の各保育所へのひな人形の寄贈は今年で5年目になります。

ひな人形をプレゼント



技能士会が刃物研ぎで奉仕



町技能士会(塚本秋夫会長)による刃物研ぎ講習会が二月二十日、町民会館と札内福祉センターで行われ、主婦らが持ち込んだ包丁やはさみなど約六百丁を研ぎ上げました。同時に募金活動も行われ、集まったお金は社会福祉協議会に寄付されました。

幕別ものがたり 最終回 12

続

わが幕別町の北部は、十勝川に沿った低地に市街地や畑作地が発達している。一方、この北部から南部にかけてのほとんどもは台地と沢である。

正十年(一五八二年)ごろ不意に日高アイヌの襲撃を受けた。酋長のサアシコトナイ以下三十五名は必死に防戦し、十数日後のある日、突然の雷雨の最中に白人方面へめがけ包囲を突破しようとしたが、わずか五・六人が脱出したのみで再び包囲された。日高アイヌはついにこの雷雨の中、一斉に居城を攻めたため、たてこもった一族三十名はあえない最後を遂げた」という。

この伝説を裏付けるように、戦前に金刀比羅神社の野瀬社掌は山腹より一振の刀を見つけている。

刀には「備前任人長船祐定」と記してあったそうである。

記・ふるさと館郷土史部 会 小助川 勝義

金刀比羅山の古戦場

日高アイヌとの壮絶な戦いの伝説

幕別町ふるさと館郷土史部会で原稿執筆してきました「続・幕別ものがたり」の一年間シリーズも終わりの一年間になりました。

資料調べ、現場訪問、古老の話の取材など、それぞれ職場を持ちながらの執筆でした。町民の皆さんに少しでも興味を持って読んでいただけたら幸甚に存じ、満足する次第です。一年間のご愛読ありがとうございました。

「ここは足利時代の永録年間、猿別アイヌの居城が造られたが、天

ふるさと館郷土史部会一同

広報クイズ⑫

500円の図書券が当たる

三つの答えの中から正しいものを選び、はがき書いてお送りください。

- 幕別町少年自然の家が設置された場所は
①A 途別 ②B 新和 ③C 駒島
- 2月12日に行われた国際交流セミナーで交流を深めた国は
①A カナダ ②B 中国 ③C アメリカ
- 2月14日のミニスキージャンプ大会飛距離部門で優勝した人が飛んだ距離は
①A 5m 95cm ②B 6m 95cm ③C 7m 95cm
- この3月で幕別高校の自動車科が閉科されますが開設されたのは
①A 昭和18年 ②B 昭和28年 ③C 昭和38年
- 途別の北村富久治さんが昨年2月から飼育に取り組んでいるのは
①A フランスガモ ②B キジ ③C 七面鳥

【応募方法】

★はがきに答えの記号(例①-A)、住所、氏名、年齢と、ご意見ご要望、広報を読んで一言などを書き添えてください。

全問正解の人の中から抽選で5人に500円の図書券をプレゼントします。応募は1人1通に限ります。ご意見などのほか、イラスト、漫画、詩、コントなども大歓迎です。イラストや漫画は黒色で濃くかいてください。

★あて先☎089-06 幕別町本町130

役場内・広報係

★締め切り=3月15日(15日の消印有効)

★前回の正解は、①-C、②-B、③-B、④-A、⑤-Bでした。応募61通で全問正解が59通。抽選で次の5人が当選しました。

(敬称略)

佐藤仁美(7・桂町) 千田江里子(12・暁町) 武田大史(12・桂町) 蓼内安衣(7・文京町) 加藤幸生(?・桂町)



幕別町丸内あかしや町 中村陽(11才)



幕別町丸内あかしや町 樋口和香(11才)

みんなの ジューピー



進藤和奈(10) 図書券ほしい、とほいせせん。せめて、イラストのコーナーにのせて



P.N じゅいん

幕

別町に来て五年目になりましたが、まだまだ知らないこ

とは。↓南勢 藤田幸恵(二) 別町に来て五年目になりましたが、まだまだ知らないことは。↓南勢 藤田幸恵(二)

続

幕別ものがたりで南勢のことが書いてありました。

今はいっぱい橋がありますが、昔は大変だったんだと思います。川の向こうとこっちの住民が話し合えることができない時があったなんて。でも今はいいなあ。つり橋もあって。皆さん、一度渡ってみては。↓南勢 藤田幸恵(二)



春

野スミエ(六三)

の足音が近く感じられます。今日このごろ、広報係の皆様ご苦労様です。私は毎月の広報を読むのが楽しみです。さまざまなお知らせがわかり、老いの身を励ましております。先月号の「ヨーロッパ視察記」とも考えさせられました。私も同じ事を感じる時があります。広報係の皆様大変です。が頑張ってください。↓古舞 萩野スミエ(六三)

春

依田 九本直美(四五)

とがたくさんあります。しっかりとした住民になれるように広報等で知識を高めているところです。↓依田 九本直美(四五)

ほんの一言

- ☺...当選者を十人ぐらいいふやしてほしい! ↓春日町 柏崎公美(二五)
- ☺...図書券が当たるまでガンバルゾ! ↓あかしや町 西藤俊英(二二)
- ☺...野球大好き人間です。春が待ち遠しい! ↓寿町 金谷親榮(二三)
- ☺...役場で働いているほら、ほら、そこにおにーさん、おねーさん。私に図書券ください! ↓緑町 山形宏美(二四)
- ☺...私は本が大好きです。友だちも図書券当たりました。私も当たるといいなー。お願いしまーす。 ↓あかしや町 大内めぐみ(二〇)
- ☺...図書券が当たりますように。子供の本を書るのが楽しみです。 ↓新町 坂美恵子(二七)
- ☺...図書券ほしいなあ。 ↓文京町 たてうちみき(九〇)



約700人が出席して行われた閉科式

25年の歴史に幕 幕別高校自動車科が閉科

この三月で二十五年の歴史の幕を閉じる幕別高校(丹敷校長、生徒数六百七人)の自動車科の閉科式が二月二十一日、同校体育館で開かれました。同科は昭和三十八年四月に二学級で開設され、これまで約千六百人の卒業生を地元の自動車業界へ送り出していました。普通科志向という流れの中で、この三月で閉科されることになりました。閉科式には同科の最後の卒業生七十四人をはじめ同科OB、全校生徒ら約七百人が出席し、最後に同科三年の関本正敏君がお礼の言葉を述べ、自動車科二十五年の歴史に幕を閉じました。

体育連盟が創立30周年

二百人が出席し盛大に記念式典

幕別町体育連盟(木村正夫会長)の創立三十周年記念式典が、二月十九日午後六時半から町民会館二階講堂で開かれました。

同連盟は昭和三十三年四月に発足し、現在は十八の単位団体が加盟しています。昨年三月に創立三十周年記念事業推進実行委員会を組織し、記念事業として昨年十月十日に行われた開町記念マラソン

大会に協賛、十一月二十日にトルセンで行われた全町綱引き大会を主催しました。また、記念式典に合わせて加盟十八団体のこれまでの歩みをつづった記念誌と記念テレホンカードを発行しました。

この日の式典には約二百人が出席しました。岩井浩同連盟事務局長の経営報告に続いて木村正夫会長が「スポーツを通しての地域つ

くり、町づくりにも更なる貢献を」とあいさつしました。このあと三十周年記念表彰と功労者表彰としてスキー協会の梅田音市さんから二十五人に木村会長から表彰状が手渡されました。林照男町長(代理・菅原繁光助役)、関口茂男町議会議長、牛尾毅町教育委員長、丸山賢吉十勝体育団体協議会長の祝辞に続いて、受賞者を代表して貝森拓司さんが謝辞を述べ、二川勝美町教育長の乾杯で祝賀会に移りました。祝賀会では三十周年を祝いながら和やかに歓談し、最後に高橋敏男町社会教育委員長の万歳三唱

盛大に行われた30周年記念式典

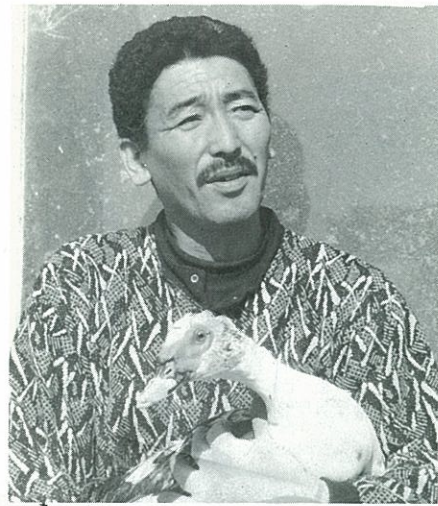


36

健康食品としてエサの配合に工夫

ひと

フランスガモの飼育に取り組んでいるきたむらふくじさん
北村富久治さん
(途別・42歳)



幕別温泉ホテルの「カモ鍋」が好評を博しています。このカモ、フランスガモといって、フランスの高級レストランで採用されている折り紙つきのカモなのです。このフランスガモの飼育に取り組んでいるのが北村さんです。

今のところ幕別温泉ホテルへの納入で精一杯です。まだまだ土台固めの時期ですね

『飼育で気をつけている点は、健康食品となるように余分な脂肪分を絶対つけないようにすることです。低カロリー、低コレステロールの肉になるようにエサの配合を工夫しています。』

『種内の友人に勧められて昨年の二月からフランスガモの飼育に取り組んでいます。最初は手さぐりの状態でしたが、ようやくこの鳥の習性も分かってきました。とても清潔好きなんですよ。』

鍋物やたたき、ロースステーキなど十種類以上の料理法がありますが、今力を入れているのは薫製なんです。先日、試作品ができましたが、自信を持ってお勧めできる味になりました。クセがなくて本当においしいんですよ。今年中には商品化できますので、是非一度、味わってみてください。』

で締めくくりました。

なお、現在加盟の十八団体と式典で受賞された方々は次のとおりです。(敬称略)

【加盟団体】

スキー協会、ソフトボール協会、山遊会、剣道連盟、弓道同好会、軟式庭球協会、柔道連盟、卓球協会、スケート協会、バドミントン協会、陸上競技協会、歩くスキー同好会、軟式野球協会、バレーボール協会、相撲協会、アーチェリー協会、水泳協会、硬式テニス協会

【創立三十周年記念表彰】

梅田音市(スキー協会)、牛尾毅(同)、井沢政助(同)、田所富男(スケート協会)、斉藤栄一(同)、大上長治(水泳協会)、平井幸男(同)、高山正(同)、安部政夫(柔道連盟)、佐々木房男(同)、飯沢常造(同)、金野忠(同)、勝山衛(アーチェリー協会)、西出元(同)、故・山口秀

「寄付ありがとうございました」

勝(剣道連盟)、故・池島多加一郎(弓道同好会)、林一夫(陸上協会)、岩井浩(同)、相原毅(同)、渡辺緑朗(同)、三村彌知夫(ソフトボール協会)、豊田実(同)、松本純一(同)、田中雅(同)、畑山弘子(バレーボール協会)、山口俊男(卓球協会)、駒井三郎(同)、貝森拓司(野球協会)、小川義男(同)、三好政男(同)、井上太郎(同)

【功労者表彰】

竹内政晃(スケート協会)、瀨織明(同)、片桐武夫(卓球協会)、小里時司(野球協会)

■社会福祉協議会へ：

▽加藤喜代房さん(中央町)から三万円
▽第二回チャリティ幕別町カラオケ会の集い実行委員会から八万円
▽大和講幕別支部から五万円

■老人クラブへ：

▽札内寿会老人クラブへ平田とよさん(春日町)から二万円、久保智さん(中央町)から二万円、大武百合子さん(春日町)から五万円

▽明野新川長寿会へ谷地田貞吉さん(明野)から一万円、東原武夫さん(同)から一万円、加藤照正さん(同)から五千元、坂本博さん(新川)から五千元
▽大和講真隆寺支部から宝町老人クラブへ一万円、中央老人クラブへ一万円
▽田中秋子さん(あかしや町)から札内鉄南長寿会へ五千元